

# 理地のめたの督提

腋酉 一十

月十年五廿成平

## 1 はじめに

最近艦これ流行ってますね。ありえないくらい流行ってますね。僕の知り合い集めてそこに向かって石を投げたら、たぶん提督に当たるくらい皆やっています。僕もやっています。今回はそんなみんなの大好きな艦これに出てくる艦娘たちの名前の由来、すなわち旧日本海軍の艦の名前の由来について話していきたいと思います。

船、特に大型船というのは車や列車のように量産できるものではなく、おおまかな形式が決まっていたとしても、個々の船というものの詳細はかなり違っており、一つ一つの船に対して名前がついていることが多いわけです。世界史で出てきた鉄剣宰相ビスマルクからとった超弩級戦艦ビスマルクとかは聞いたことあるんじゃないかなと思います。

では旧日本海軍の軍艦の名前ってのはどんな命名基準だったのでしょうか。適当に艦これに出てきた艦の名前を出してみましょう。

駆逐艦: 「吹雪」「舞風」

軽巡洋艦: 「長良」「多摩」

重巡洋艦: あたご「愛宕」「羽黒」

空母: ずいほう「瑞鳳」「ずいかく瑞鶴」「赤城」

戦艦: 「比叡」「伊勢」「長門」

名前を見てみると、駆逐艦は自然現象的な名前など雅な日本語が多く、空母は鳥の名前とか飛ぶやたらかっこいい感じなのが多い。また巡洋艦と戦艦は地名とか地域っぽい名前が多いように見えますね。正式には

駆逐艦: 天気や海、季節などに関連する単語

軽巡洋艦: 河川の名前

重巡洋艦: 主に山の名前、  
河川の名前も用いられた

空母: 神話に出てくる飛行動物、  
後に山の名前も使用可

戦艦: 律令体制時代の旧国名、  
ふそう「扶桑」は日本の雅称でこれは例外

となっています。

今回は山や川・地名地域に絞って、つまり巡洋艦と戦艦がメインとなるようにお話を進めていきたいと思います。説明はその艦の説明ではなく、その地域等の説明になります。あらかじめ。阿賀野型重巡洋艦や戦艦武蔵は、艦これではまだ実装されていません(2013年10月現在)が、近い未来実装されると思うので一緒に書いておきました(追記: 武蔵は11月のイベントで実装されるみたいですね)。地図に関しては google の maps engine で作りました。



図 1: 樺太 (サハリン)



図 2: 北海道

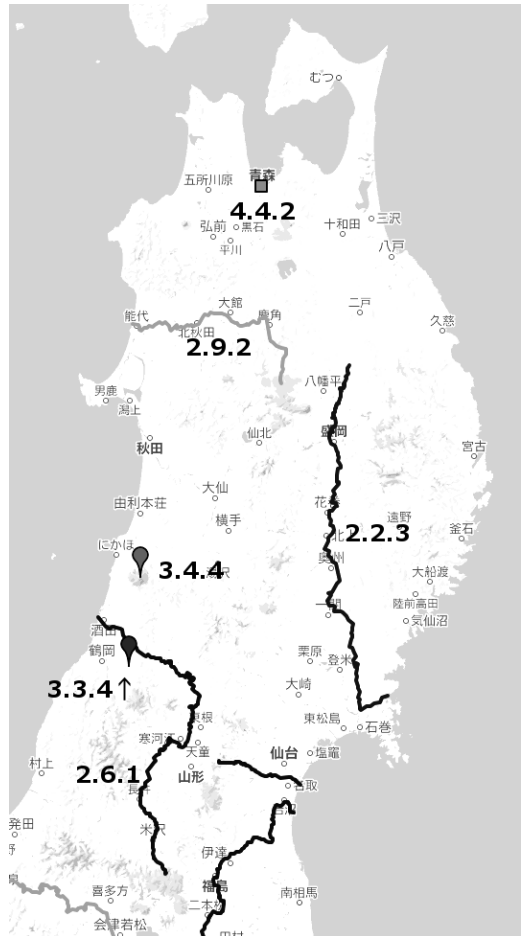


図 3: 東北地方等

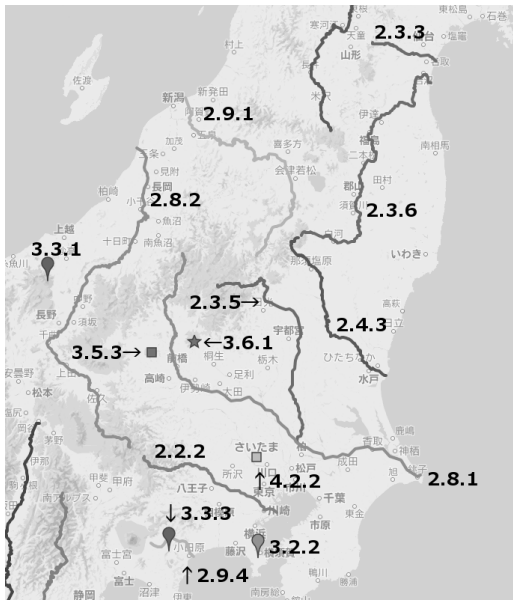


図 4: 関東地方等

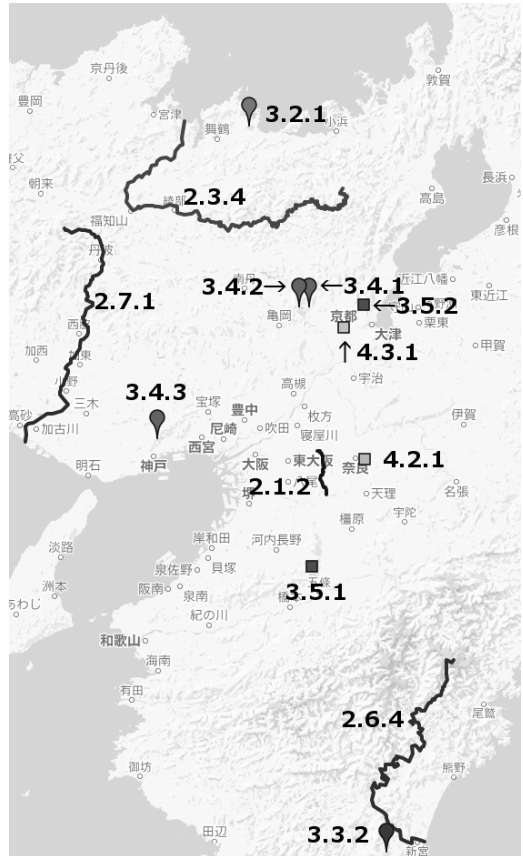


図 6: 近畿地方等

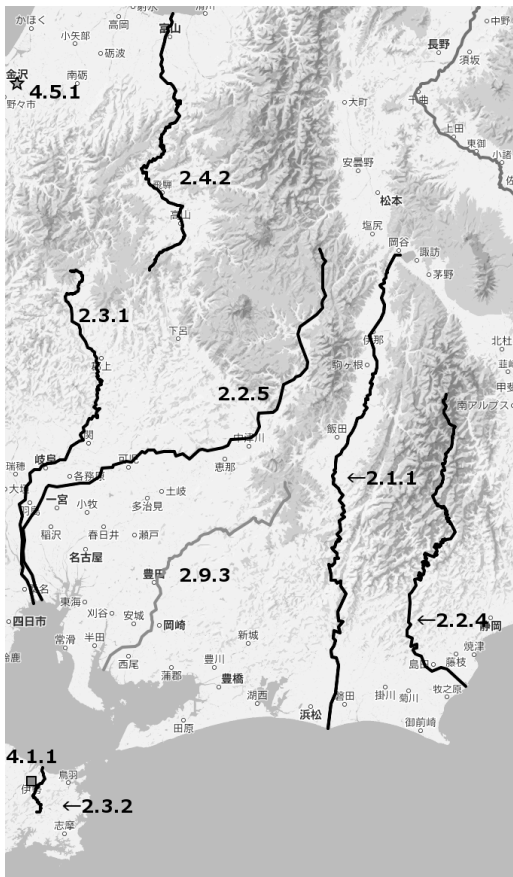


図 5: 中部地方等

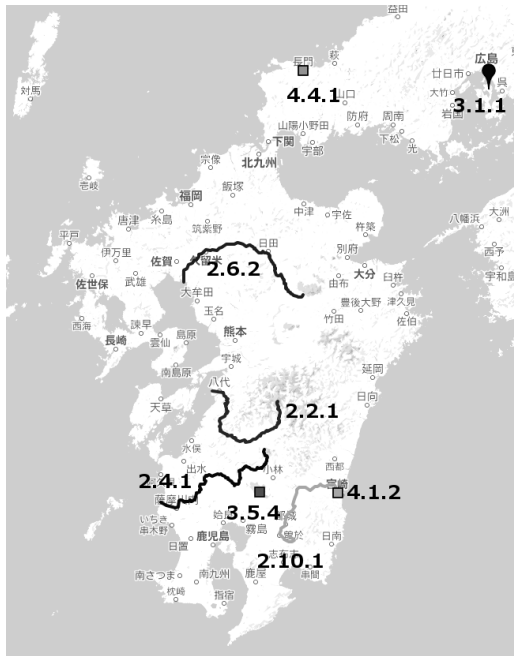


図 7: 九州地方等

## 2 河川の名前による艦名

### 2.1 天龍型軽巡洋艦の名前の由来となった河川

#### 2.1.1 天竜川

源流は長野県の諏訪湖、ワカサギの養殖が盛んで冬場は湖に張った氷が真ん中からバツキバキに割れる御神渡りが有名である。日本で初めてフィギュアスケートの行われた場所でもある。湖畔には間欠泉もある観光地。肝心の本流のほうも天竜峡とよばれる名勝がありライン下りが楽しめる。伝説のローカル線・飯田線が沿線。

#### 2.1.2 竜田川

大和川の支流。近鉄生駒線が並走する。歌枕としても名高いが、当時の竜田川は大和川のそのものだったという説もある。最近の水質汚濁が深刻らしい。春は桜がきれいに咲く。

### 2.2 球磨型軽巡洋艦の名前の由来となった河川

#### 2.2.1 球磨川

熊本県の球磨川だクマ。駄洒落なのは知らないクマ。球泉洞とよばれる鍾乳洞が川の近くにあるクマー。日本三大急流のひとつだクマー。

#### 2.2.2 多摩川

東京西部と川崎の飲み水を担う多摩川だニヤ。源流は埼玉県の秩父と山梨県の県境の山間だニヤ。上流部ではラフティングやボルダリングが盛んだニヤ。沿線は青梅線と南武線だニヤ。江戸時代から木を運ぶために用いられたニヤ。以前タマちゃんとかいうアザラシ出てきたニヤーね。

#### 2.2.3 北上川

源流は岩手県の正党院の泉。流域が平坦であることが有名。東北の川の中で一番の長さを誇る。流石北上様。平坦な北上様。べたんく

#### 2.2.4 大井川

この横を通る大井川鉄道は日本で唯一のAPT式と呼ばれるラック鉄道でも有名。かなりうねうねした川で、フォッサマグナの崩落個所もあり、土砂流出が激しい。

#### 2.2.5 木曾川

木曾三川のひとつ。中山道はここに沿っている。古来から戦があるたびに軍事的な要所として扱われることが多かった。だからあんな感じなんじゃないかな。

### 2.3 長良型軽巡洋艦の名前の由来となった河川

#### 2.3.1 長良川

青春 18 きっぷシーズンに運行される夜行快速「ムーンライトながら」はこれが由来。ヘッドマークに鵜が描かれているように、夏になると伝統的な漁である鵜飼が行われる。鵜飼の人は宮内庁の所属なので国家公務員っちゃ国家公務員。木曾三川のひとつ。

#### 2.3.2 五十鈴川

個人的難読河川シリーズ。神宮（内宮）の禊が行われる神聖な川。長さは短いが一級河川。神宮といえば赤福。赤福食べたい。欲を言えば朔日餅が食べたい。誰か任せた。

#### 2.3.3 名取川

宮城県の有名な川。源流も河口も宮城県仙台市。川沿いにある秋保温泉は読みにくい。さらにどうでもいいけど、秋保温泉には南東北では老舗で有名なホテル瑞鳳がある。

#### 2.3.4 由良川

アユの名産地。河口は歌枕として読まれることも多い景勝地。あと海水浴場。流域の福知山市は酒吞童子の昔ばなしで有名な大江山がある。また旧陸軍歩兵第二十連隊の駐屯地や旧海軍の飛行場もあり、旧日本軍の要所でもあった。

### 2.3.5 鬼怒川

個人的難読河川シリーズ。源流は鬼怒沼、標高2000メートルの湿地帯。上流部は温泉が沢山あり湯治客も多い。昔は「絹川」「衣川」と書かれたが、水害が多く「『鬼』が『怒』っている」ように思われたところから、現在の名前となった。常磐道守谷SAあたりで利根川と合流する。

### 2.3.6 阿武隈川

個人的難読河川シリーズ。福島県を縦断するような形で流れる川。まるで福島県の川のような言い方をすることが多いが、河口は宮城県岩沼市。長さは東北で北上川に次いで二番目。軍艦の方もぶつかるし、川の方は長さには敵わないしと仲が悪そうではある。

## 2.4 川内型軽巡洋艦の名前の由来となった河川

### 2.4.1 川内川

個人的難読河川シリーズ。上から読んでも下から読んでも川内川。九州で二番目の長さを誇る川。下流には「川内駅」があり、「川内から仙台」までの新幹線の切符が買える（どうでもいい）。

### 2.4.2 神通川

富山県と岐阜県を流れる川で、岐阜県では宮川と呼ばれる。飛騨や高山などの隠田集落による独自文化が栄えていた。そのうちが世界遺産の白川郷や五箇山にあたる。河口の富山市は市街地の交通機関の発展が（車社会が根付いている地方都市にしては）著しく全国から数多くの地方自治体から視察が来ることも有名。

### 2.4.3 那珂川

ここもアユが有名。築漁がおこなわれるところでもある。源流は阿武隈川と同じ山的那須岳。河口はひたちなか市（ちなみにひたちなかを漢字で書くと「常陸那珂」。パッと見読めないね。）と大洗町の境になっている。大洗町の大洗磯前神社には軽巡洋艦・那珂の祈念碑がある。那珂川の説明したんで那珂ちゃんのファンやめます。

## 2.5 夕張型軽巡洋艦の名前の由来となった河川

### 2.5.1 夕張川

石狩川水系の支流である夕張川。江別市で本流と合流する。ところでメロンで有名な夕張市であるが、財政破綻で大変な中、大夕張ダムところに夕張シューパロダムを建設中。新たな観光資源になるといいね。支流にかの有名なヤリキレナイ川がある。

## 2.6 最上型重巡洋艦の名前の由来となった河川

### 2.6.1 最上川

日本三大急流の一つ。一つの県にしか流れない川のうちで一番長い川。「五月雨をあつめて早し最上川」という芭蕉の句があまりにも有名であるが、芭蕉は「あつめて涼し」かで迷ったそう。急流だから「早し」になったのかもしれない。

### 2.6.2 筑後川

最上型二番艦は三隈であるが、三隈川は筑後川の一部区間、大分県日田市にかかる部分のさらに一部がそれである。筑後川は三大暴れ川の一つで「筑紫二郎」とも呼ばれる。ここ、クイズに出るから覚えとくといいよ。

### 2.6.3 鈴谷川

南樺太（サハリン）が日本領だった時の川。鈴谷岳（チーフ山）が源流で豊原市（Южно-Сахалинск）郊外を経由して垂庭湾（アニヴァ湾）まで流れる川。個人的には南樺太が今も日本領なら、唯一の陸続きの国境線になるから面白いと思うんだけどなあ。そしたらパスポートもって豊原まで行きます。

### 2.6.4 熊野川

熊野神社の周囲の流域はいわゆる「熊野古道」の一部として世界遺産の一部になっているすごい川。水害が多い。

## 2.7 古鷹型重巡洋艦の名前の由来となった河川

### 2.7.1 加古川

重巡加古はもともと川内型軽巡の予定だったらしく、川の名前になったらいい。加古川には加古川線が並走していて、最近までトラウマ級の変な塗装の103系が走ってた（参照：眼のある電車）。ちなみに流域の西脇市は東経135度、北緯35度が交差していて、日本のへそ公園とかいう謎の公園がある。

## 2.8 利根型重巡洋艦の名前の由来となった河川

### 2.8.1 利根川

日本三大急流の一つで「坂東太郎」の異名がある。ここクイズに出るよ。首都圏の水瓶でも有名。作ろうとしたり中止したりまた作ろうとしたりと地元民がいるいろいろ可哀相な目にあってる八ッ場ダムも利根川（に作ってる）のダム。どうでもいいけど「ッ」を「ん」って読むのは無理あると思う。流域面積日本一、長さ日本二。

## 2.8.2 信濃川

利根型重巡洋艦の二番艦は筑摩<sup>ちくま</sup>だけど、由来である千曲（筑摩）川は信濃川の長野県領域の名前。信濃だと千曲川。越後（新潟）だと信濃川。すっごく紛らわしい。日本一の川の長さ。源流は甲武信ヶ岳。甲州・武蔵・信州の境の山だから甲武信ヶ岳（諸説あり）。やる気ないね。

## 2.9 阿賀野型重巡洋艦（艦これには未実装）の名前の由来となった河川

### 2.9.1 阿賀野川

福島県内だと阿賀川（磐越西線あたり）とか大川（会津鉄道線あたり）とも言われる。中下流は第二（新潟）水俣病の惨劇があった川でもあるが、今は綺麗な川。水系にはダムが多い。福島は電源村だからねしょうがないね。

### 2.9.2 米代川

阿賀野型2番艦の名前は能代。米代川の下流部の名称が能代川ってところから。源流は八幡平<sup>はちまんたいら</sup>という山々の集合体。流域には鉱山が多くこの川を用いて運んでいた。

### 2.9.3 矢作川

個人的難読河川シリーズ。阿賀野型3番艦の名前は矢矧であるが、今は読みが同じで「作」の字を使う。おきやはぎの「やはぎ」はこの字を書く。河口は三河湾。

### 2.9.4 酒匂川

個人的難読河川シリーズ。静岡県内は鮎沢川<sup>あゆざわ</sup>と呼ばれる。源流はそうかえんで有名な御殿場市の滝ヶ原駐屯地・東富士演習場の近く。川も演習場を横切っている。御殿場市内はひげ根のように支流があり、御殿場線駿河小山駅あたりで一体化。御殿場線と小田急線を並走して小田原市内で駿河湾に出る。

## 2.10 大淀型重巡洋艦（艦これには未実装）の名前の由来となった河川

### 2.10.1 大淀川

淀川は琵琶湖から大阪に流れ込む川、これとは関係ない。河口は宮崎県は日向灘。宮崎県を流れる川。数年前にそのまま東が県知事になってから一躍話題の県になった。このマンガは冗談抜きにおいしい。

## 3 山の名前による艦名

### 3.1 古鷹型重巡洋艦の名前の由来となった山

#### 3.1.1 古鷹山

広島県の離島、江田島<sup>えたじま</sup>にある古鷹山。旧日本海軍の要所の島で、海軍兵学校があった。男塾の塾長江田島はここから名前をとってるらしい（出展：民明書房『男塾塾長 江田島の数奇な人生』）。呉もそこに近いついていうか橋でつながってるから離島って感じがしない。現在も海自の第一術科学校があり、自衛隊の卵がここから生まれる。

### 3.2 青葉型重巡洋艦の名前の由来となった山

#### 3.2.1 青葉山

個人的には青葉山と言えば仙台を思い浮かべるけど、重巡青葉はこの山が由来。京都府と福井県の境の山。この辺一帯はリアス式海岸でいい漁場になっている。古くから寺があり信仰の山。

#### 3.2.2 衣笠山

横須賀市内、崖の上側にある衣笠山。それこそ、横須賀鎮守府の目と鼻の先にある。今も昔も軍港として栄えている。今の横須賀市内はアメリカ海軍第七艦隊横須賀基地があるせいか、日本のベッドタウンとアメリカ的な雰囲気<sup>きぬがさ</sup>が交差する面白い街。カレーは美味しい。

### 3.3 妙高型重巡洋艦の名前の由来となった山

#### 3.3.1 妙高山

ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃の一番初めのシーンはこの山。活火山。山麓は温泉、山はスキーマッカとリゾートには事欠かないところ。

#### 3.3.2 那智山

熊野三山の一つ那智山。熊野神社まわりで世界遺産。信仰の山。天然記念物の那智原始林もあり、自然豊かな山でもある。天気が良ければここから富士山が見えるらしい。

#### 3.3.3 金時山

妙高型重巡洋艦二番艦は足柄<sup>あしがら</sup>。足柄山は金時山から足柄峠にかけての区間の山々。昔話の金太郎の本名は坂田金時で、こころの出身らしい。球磨に乗るのか。

#### 3.3.4 羽黒山

山伏がいっぱい、修験道の聖地出羽三山の一つ羽黒山<sup>はぐる</sup>。湯殿山と月山が残りの二つ。出羽三山神社があり、そこにお参りすることで、3つすべてにお参りしたことにできる。昔は羽黒山以外女人禁制だった。

### 3.4 高雄型重巡洋艦の名前の由来となった山

#### 3.4.1 高雄山

愛宕山の隣にある山。東京都八王子市の方は「高尾山」。台湾にも「高雄」って地名があるけど、これは台湾併合時に「打狗」に発音が似ていて、京都の名所であるこの名前を使って「高雄」としたらしい。そしたら漢字そのまま中国語で読まれるようになってこうなっただけ。

#### 3.4.2 愛宕山

京都市と亀岡市にかかる山。日本各地の愛宕神社はこの山の愛宕神社を総本社とする。「伊勢へ七度、熊野へ三度、愛宕様には月参り」ということわざ（信仰が深いたとえ）があるが、その愛宕さん。火事予防とかそのへんの神様。今このことわざ聞くと違った意味に聞こえる。

#### 3.4.3 摩耶山

元祖百万ドルの夜景といえば神戸市内の夜景であるが、隣の六甲山から摩耶山にかけて見える夜景がそれである。山頂まではケーブルカー・ロープウェイで簡単にいける。摩耶ちゃんきれいだよ（なんかちがう）。

#### 3.4.4 鳥海山

東北で二番目の高さの山。美味しい水がわき出る。信仰の山だったがゆえに、山頂がどこ所属かで揉め事になったことのある山。うちの県も山形と山頂争ってわけのわからん県境作ってたなあ。

### 3.5 金剛型戦艦の名前の由来となった山

#### 3.5.1 金剛山

金剛型戦艦は、もともと巡洋艦として開発が計画されていたために、山の名前からとっている。金剛山は金剛山地の最高峰。奈良県と大阪府にまたがる。ここも修験道の聖地。神社とお寺がある。山頂まで行くのは、ロープウェイがあるので結構楽。大阪府最高点も金剛山にある。

#### 3.5.2 比叡山

古文で「山」と言ったら8・9割はこの山って古文の先生が言ってた。そんな比叡山。「比叡山・延暦寺」として歴史的に著名なお寺がある山。天台宗総本山で全国から仏門に入るうとする若者が次々とここで厳しい修業をする。世界遺産。

#### 3.5.3 榛名山

頭文字 D で有名な山。上毛三山のひとつ。信仰の山。山頂にカルデラ湖がある火山。側火山（山体側面に噴口がある）がいっぱいある。この辺の温泉だと伊香保温泉が有名。

#### 3.5.4 霧島山

頭に「黒」をつけるると芋焼酎。つけなくても芋焼酎。日本神話における天孫降臨（「天照大神の「孫」である瓊瓊杵尊が天界から「降臨」した）の山であり、由緒正しい信仰の山。活火山で噴煙は常時出ている。温泉も出る。

### 3.6 赤城型航空母艦の名前の由来となった山

#### 3.6.1 赤城山

頭文字 D で有名な山その二。上毛三山のひとつ。色々な火山が合体したような複成火山。そのため一口に赤城山と言っても色々山頂がある。群馬県や埼玉県では赤城 嵐 と呼ばれる冬の風も有名。

## 4 旧国名・その他地名による艦名

### 4.1 伊勢型戦艦の名前の由来となった旧国名

#### 4.1.1 伊勢国

伊勢神宮の御膝元。伊勢神宮は正式には「神宮」と称する。現在の三重県の大半、伊賀と志摩以外の部分。古来から神宮のお膝元して朝廷や幕府に手厚く保護された。今年平成 25 年は 20 年に一度の式年遷宮のある年で、なし崩し的に言えばお社の建て替えの年。宮大工の技術を後世に残すために 20 年に一度というスパンで行っているらしい。

#### 4.1.2 日向国

日向国は現在の宮崎県全体をさす。ぱっと思えば浮かんだのは日向夏。正確には鹿児島県の志布志市あたりまで日向国だったようで。志布志市といえば志布志市志布志町志布志に志布志市役所志布志支所があるってトリ〇アの泉とかで紹介されたことがあった記憶がある。

### 4.2 大和型戦艦の名前の由来となった旧国名

#### 4.2.1 大和国

日本全体をさす大和が一番初めの大和はこの辺。ヤマト朝廷時代を考えればめちゃくちゃ歴史のあるところ。シカせんべいは美味しくない。

#### 4.2.2 武蔵国

東京都と埼玉県、神奈川県川崎市横浜市あたりがだいたい武蔵国。自分の周りだと逆に書くことが少ない。

#### 4.3 扶桑型戦艦の名前の由来となった旧国名

##### 4.3.1 山城国

山城国は京都南部のエリア。いわゆる畿内。京都といえば伏見の酒。あとウズラとスズメの丸焼き。伏見稲荷大社の山をのぼるとどんどん自販機の値段が上がるので要注意。

#### 4.4 長門型戦艦の名前の由来となった旧国名

##### 4.4.1 長門国

長門国は、現在の山口県の日本海側のエリア。いわゆる長州。本州の西の端である長門は、古来から本州側の下関しものせきと九州側の門司もじ間の関門海峡を挟んで九州との交流が盛んであった。ちなみに関門海峡は最狭区間で500メートルでとっても狭い。調べた僕が驚いてる。泳げそう。こんなに狭いのに船の往来はとても多く昔から交通の要所。

##### 4.4.2 陸奥国

陸奥は「みちのく」とも呼び現在の福島県以北の東北地方（出羽国の山形県・秋田県除く）全体がそれであった。古来から白河の関しらかわ・勿来なこその関以北のエリアは（言い方はアレだが）僻地であり、その関所が破られないように厳しい監視の目が敷かれていたのは時代劇でもよく聞く話。明治時代以降はおおまか青森県が陸奥国。津軽鉄道のストーブ列車でスルメを焼くのが僕の野望の一つ。

#### 4.5 改装空母の名前の由来となった旧国名

##### 4.5.1 加賀国

空母加賀はもともと戦艦として開発刷する予定であったため（下の信濃も同じ）、命名規則に乗っ取らず旧国名から名前が決まっている。加賀百万石。昔から金が有名なところで、今でも金箔の99%が石川県産。ちなみに金箔は100nmレベルの薄さ。すごい。

##### 4.5.2 信濃国

信州こと信濃は今の長野県全域を指す。北部（長野）は善光寺の門前町として栄え、中部（松本）は全国的にも珍しい黒い城の松本城（城が国宝）。また、軽井沢や上高地などもあり観光地として主に関東圏から四季を通じて観光客が訪れる。艦これでは未実装の艦。

#### 4.6 その他

##### 4.6.1 間宮海峡

樺太（サハリン）とユーラシア大陸との海峡。ロシア語名Татарский пролив。日本語による名前の由来は、江戸時代に樺太が島なのか半島なのかという論争が起きた際に、樺太に派遣された人物である探検家・間宮林蔵からとったもの。

##### 4.6.2 扶桑

「はじめに」でも述べたように扶桑は日本の雅称。もともとは、古代中国で日の出る東海の中にあるとされた神木とのこと（出展：大辞林）。すごい巨大。トラックとかバスとかを生産している三菱ふそうの「ふそう」もこれ。